令和7年　第4回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏　　名	質 問 項 目　（17人、47項目）	備　　考
1	池 田　英 司	1　矢野口地区のまちづくりの進捗状況について 2　稲城市ホームタウンアスリートの認定制度について	
2	山 岸　太 一	1　負担増とサービス抑制ではなく、誰もが安心して利用できる介護保険制度にしていくために 2　市民や利用者の立場にたったiバス路線の再見直しについて 3　小中学校における保護者の「隠れ教育費」の負担軽減について 4　東京都による下水道料金値上げに反対をして市民の暮らしを守る取り組みについて	
3	つ の じ　寛 美	1　稲城市と学校法人駒澤学園との連携協力の推進について 2　子どもの自殺対策について 3　バス利用者への取組について	
4	北浜　けんいち	1　東京都カスタマー・ハラスメント防止条例の施行を受けての市及び教育委員会の対応、対策について 2　大丸用水堰改築工事について	
5	中 島　健 介	1　ふるさと納税について 2　稲城市の人事交流について 3　土地区画整理事業について	
6	佐 藤　しんじ	1　稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多摩3・4・16号稲城南多摩線における交通安全対策について 2　市立小中学校における養護教諭の配置基準や職務等について 3　知的障害特別支援学級の現状と、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について	
7	湯 谷　ひ ろ し	1　電子書籍を活用し、より多くの市民が図書館を利用できる環境を目指して 2　安心して出産ができ、乳幼児を育てられる環境を目指して	
8	土居　のりひろ	1　駅周辺の賑わい創出のための取組について 2　公民連携による観光資源の整備について 3　自衛隊との連携・協力について	
9	岡 田　ま な ぶ	1　市内路線バスの維持・拡充について 2　稲城駅の駐輪場の増設等について 3　不登校支援、教育補助員等の処遇改善、少人数学級の推進等について	
10	川 村　あ や	1　市が管理する公園・緑地について 2　不妊症および不育症への支援について	
11	村 上　洋 子	1　太陽光パネル等の廃棄処分やリサイクルについて 2　稲城市立病院で「美味しい病院食」を推進することについて 3　多様な性を認め合う施策の推進について 4　子どもの権利に関する施策の推進について	
12	角 田　政 信	1　ゴミのポイ捨て対策について 2　自転車盗について	

13	中　田　中	1　地域別将来推計人口を踏まえた稲城市の課題について 2　街路樹や緑地の植栽管理について	
14	梶浦　みさこ	1　(案)大河原邦男ギャラリー(常設の屋内作品展示スペース)について 2　(案)ジャイアンツタウン通り等の施設愛称や、読売ジャイアンツ秋季キャンプの機運醸成によるシビックプライドのさらなる醸成について 3　バッグ・靴など服飾雑貨やおもちゃ等回収ボックス設置によるリサイクル促進とごみ減量化の取り組みについて	
15	田島　きく子	1　小中学校の生理用品の置き場所について 2　学校の暑さ対策について 3　JR南武線ワンマン運転に伴う遅延問題や安全対策について 4　稲城市の地球温暖化防止対策の推進について	
16	榎本　久春	1　学童クラブの現状と拡充について 2　高齢者の健康寿命の延伸について	
17	いそむらあきこ	1　医療的ケア児・障害児等の配慮が必要な子どもの保育園の受入れ体制について 2　学校における保護者等の経済的負担軽減の取組について 3　稲城南山東部地区における交通安全対策について	

通告番号	会　派　名	氏　　名
1	新政会	池　田　英　司

項目番号	質　　問　　要　　旨	摘　要
1	矢野口地区のまちづくりの進捗状況について 矢野口地区では、土地区画整理事業による都市基盤整備や関連する道路整備事業、「TOKYO GIANTS TOWN 構想」等によるまちづくりが進められております。そこで、現在、進められております、多７・５・３号宿榎戸線、多３・４・12号読売ランド線、多７・４・５号東長沼矢野口線、多７・５・２号公園通り梨の道線、稲城矢野口駅周辺土地区画整理事業、吉方公園等の整備事業の進捗状況について伺います。 (1)　多７・５・３号宿榎戸線について 多７・５・３号宿榎戸線の整備スケジュールについては、令和５年第３回定例会において、質問しておりますが、改めて整備スケジュール等について伺います。 ①川崎街道から旧鶴川街道の区間について、現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケジュールについて伺います。 ②多７・５・３号宿榎戸線と川崎街道との交差点形状等について伺います。 (2)　京王よみうりランド駅周辺の道路整備について 多３・４・12号読売ランド線につきましては、現在、整備工事が進められておりますが、令和７年３月のジャイアンツタウンスタジアムのオープンや令和８年春のポケパークカントーのグランドオープン、令和９年には水族館等の開業が予定されています。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	これらの施設の玄関口となる京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業につきましても、調査や設計を進めていると伺っております。 多３・４・12号読売ランド線並びに京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業の進捗状況や今後のスケジュールについて伺います。 ①多３・４・12号読売ランド線について、現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケジュールについて伺います。 ②京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業について、現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケジュールについて伺います。 (3)　多７・４・５号東長沼矢野口線について 稲城南山東部土地区画整理事業区域内で整備が進められている、多３・４・12号読売ランド線と接続する予定の、南山地区の多７・４・５号東長沼矢野口線の開通時期について伺います。 (4)　多７・５・２号公園通り梨の道線について 稲城榎戸土地区画整理事業については、平成６年度から始まった建物移転も全て完了し、今後は、公共施設の整備を進める計画であるとお聞きしております。 そこで、稲城榎戸土地区画整理事業区域内の吉方公園から矢野口公園を結ぶ道路である多７・５・２号公園通り梨の道線の進捗について伺います。 (5)　稲城矢野口駅周辺土地区画整理事業旧スーパー堤防Ｃ工区について 稲城矢野口駅周辺土地区画整理事業では、安心して暮らせる安全で快適な災害に強いまちづくりを行っており、第五次稲城市長期総合計画の	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	期間内には、旧スーパー堤防Ｃ工区の整備を行っていくと伺っております。 　そこで、旧スーパー堤防Ｃ工区の事業予定について伺います。 (6)　地域から期待される吉方公園の改修整備について 　吉方公園は令和９年度の開園に向けて改修整備工事が始まっており、市内で初めてのインクルーシブ公園として住民からの期待が高まっています。 　そこで、新たに改修整備が進んでいる吉方公園について伺います。 ①吉方公園改修整備事業の進捗状況について伺います。 ②駐車場の台数、仕様について伺います。 ③防犯対策について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
2	稲城市ホームタウンアスリートの認定制度について 稲城市ホームタウンアスリートの認定制度については、令和６年第１回定例会において一般質問し、ホームタウンアスリートの PR が市民や子どもたちの目に留まることで、スポーツに取り組むきっかけとなることや、すでにスポーツをしている市民や子どもたちの励みになるものと認識しています。 令和５年 10 月の制度開始から２年が経過したことから、改めて、稲城市ホームタウンアスリートの認定制度について伺います。 (1) 稲城市ホームタウンアスリートの認定制度の概要について伺います。 (2) 稲城市ホームタウンアスリートの認定実績について伺います。 (3) 認定した稲城市ホームタウンアスリートについて、これまで、どのような周知をされたのか伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
2	日本共産党	山岸太一

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	負担増とサービス抑制ではなく、誰もが安心して利用できる介護保険制度にしていくために 2027年度から開始予定の第10期介護保険事業計画に向けて国の議論が大詰めを迎えています。利用料の値上げ、サービスの抑制や縮小ではなく、必要な人が安心して必要なサービスを利用できる介護保険制度にしていくことを求める立場から質問します。 （１）令和７年６月13日閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針２０２５」（骨太方針２０２５）において介護保険制度はどのように記載されているのか聞きます。 （２）令和７年10月27日第127回社会保障審議会介護保険部会の資料３「持続可能性の確保」の「現状・課題」で述べられている９つの項目について聞きます。 （３）第10期介護保険事業計画の策定に向けた市としての取り組み状況と今後の計画について聞きます。	
2	市民や利用者の立場にたったｉバス路線の再見直しについて 先日の地域公共交通会議においてｉバスの路線見直しが正式に決定されました。決定過程において市民や利用者の声がどのように反映されたのかを確認し、市民や利用者の声がちゃんと反映をされたｉバス路線にしていくことを求める立場から質問します。 （１）市民や利用者の声を聞く取り組みについて ①市が主催した市民意見聴取会の開催回数と参加状況について聞きます。 ②市民意見聴取会で出された意見の数と内容について聞きます。 ③市民意見聴取会以外で市に届いた意見や要望について聞きます。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（２）路線見直しにあたって市民や利用者の声の反映について ①市民や利用者から出された意見や要望の地域公共交通会議での検討方法について聞きます。 ②市民や利用者の声が路線見直しの決定にあたってどのように反映されたのかについて聞きます。 （３）新路線の運行開始までの今後の進め方について聞きます。	
3	小中学校における保護者の「隠れ教育費」の負担軽減について 「隠れ教育費」とも言われる学校で保護者が負担をする様々な費用について、東京都が負担軽減に向けて調査をしていくことを明らかにしました。保護者負担を軽減し、義務教育の完全無償化を求める立場から質問します。 （１）令和７年６月 25 日付文科省通知「学校における補助教材及び学用品等に係る保護者等の負担軽減について」について ①同通知の主な内容について聞きます。 ②同通知の添付資料の「事例１」の内容について聞きます。 ③同通知の添付資料の「事例２」の内容について聞きます。 （２）学校教育における公費負担の拡大について ①市として公費負担とすべき経費と私費負担とする経費をどのように区分しているのか認識を聞きます。 ②私費負担としていた教材を学校備品とし、公費負担にすることについて認識を聞きます。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
4	東京都による下水道料金値上げに反対をして市民の暮らしを守る取り組みについて 　東京都が自治体に対して下水道関連の負担金の改定を求めてきています。下水道料金の値上げにもつながる東京都の負担金改定をやめさせて、市民の暮らしを守るための取り組みを求める立場から質問します。 （１）下水道事業会計における「流域下水道維持管理費」の内容について聞きます。 （２）東京都が７月 28 日に公表した「流域下水道維持管理負担金の改定について」の内容について聞きます。 （３）東京都に対して下水道料金の値上げにもつながる負担金の改定の中止を求めるべきと考えますが認識を聞きます。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
3	公　明　党	つのじ寛美

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	稲城市と学校法人駒澤学園との連携協力の推進	
	について	
	地域が抱える様々な社会課題を解決するため、両	
	者それぞれの人的、知的資源や特色を活かし、	
	教育・研究、文化・福祉など多岐にわたる分野で連携	
	協力を行っております。これにより、地域社会の活性	
	化や市民サービスの向上、人材育成などが期待さ	
	れます。そこで、これまでの取組状況と今後の連	
	携協力について伺います。	
	(1)連携協力するにあたりどのように取組んでい	
	るのか伺います。	
	(2)これまでの様々な連携協力について	
	①稲城市健康な食事づくり推進員養成講座の	
	講師の取組について伺います。	
	②生涯学習分野に関して、まず公民館主催事業「親と子	
	の教室」にかかる連携協力の内容について伺います。	
	③稲城市立稲城第二小学校への教育補助学生ボラン	
	ティアの派遣事業について伺います。	
	④市主催のイベントに協力するための学生ボラ	
	ンティアの取組について伺います。	
	⑤稲城市内の公園やバス停のベンチを制作して、	
	市に寄贈している事について伺います。	
	⑥市内の小学校の黒板アート作成について伺います。	
	(3)今後の取組について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
2	子どもの自殺対策について	
	厚生労働省による令和６年の自殺者数は 20,320	
	人と、前年から 1,517 人減少しました。とは言え、	
	小中高生の令和６年の自殺者数は 529 人で、前年	
	と比較して 16 人増加しており、統計のある昭和	
	55 年以降、最多の数値となりました。	
	国では、こうした極めて深刻な状況に対処するた	
	め、未来あるこどもの命が失われる事のないよう	
	体制整備・措置について、自殺対策基本法に定	
	めるほか、デジタル技術を活用した施策の展開な	
	ども推進しています。市においても、子どもを含	
	めた市民の命を守るため、各部や東京都とも連携	
	しながら取組を行っている事に感謝します。	
	(1)児童相談所虐待対応ダイヤル『189』に稲城市	
	民から寄せられた過去３年間の相談件数につい	
	て伺います。	
	(2) 稲城市子ども家庭支援センターにおける『子	
	どもと家庭の総合相談』に寄せられた過去３年間の新規	
	相談受付件数について伺います。	
	(3)稲城市におけるゲートキーパーの取組につい	
	て伺います。	
	(4)こころの体温計の過去３年のアクセス数について伺	
	います。	
	(5) こころの体温計における、オプションのここ	
	ろの発達やこころのエンジンへの認識について	
	伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
3	バス利用者への取組について	
	(1)稲城駅から市役所や、市立病院までの延伸について伺います。	
	(2)路線バスの今後の方向性について伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
4	稲志会	北浜けんいち

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	**東京都カスタマー・ハラスメント防止条例の施行を受けての市及び教育委員会の対応、対策について**	
	令和７年４月１日に東京都カスタマー・ハラスメント防止条例が施行されました。この条例の施行を受けて稲城市の対応・対策について伺います。	
	（１）条例の概要と目的について伺います。	
	（２）市で想定しているカスタマー・ハラスメントに対する対応、対策について伺います。	
	（３）マニュアルの作成について伺います。	
	（４）東京都教育委員会が定めるガイドラインについて伺います。	
	（５）ガイドラインを受けての稲城市教育委員会の対応、対策について伺います。	
	（６）カスタマー・ハラスメントを受けた職員に対するケアについて伺います。	

2	大丸用水堰改築工事について	
	令和元年東日本台風により、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、浸水被害の軽減に向けた対策を加速化するため、国土交通省京浜河川事務所が、多摩川中下流部における河道掘削や堰改築、堤防整備を行うため「多摩川緊急治水対策プロジェクト」による工事が施工されています。 このプロジェクトにおいて重要な工事が大丸用水堰改築であります。そして、この工事が令和7年7月に完了し、10月27日に大丸用水堰改築工事完了現地見学会が開催されました。 それを踏まえて、市の見解を伺います。	
	（1）多摩川緊急治水対策プロジェクトの概要について伺います。	
	（2）大丸用水堰改築工事の概要について伺います。	
	（3）この工事による稲城市への影響について伺います。	
	（4）この工事を含め、多摩川緊急治水対策プロジェクトに対する稲城市の対応について伺います。	市長答弁

通告番号	会　派　名	氏　　名
5	稲志会	中島 健介

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	ふるさと納税について	
	全国のふるさと納税の寄附額（受入額）は、2024年度に約1兆 2,728 億円と、制度開始以来の最高額を更新しました。一方で、稲城市においては赤字幅が増加し続けており、市民生活を支える財源への影響が大きくなっています。 また、ふるさと納税制度は、制度の適正な運用を確保する観点から、総務省によって毎年、指定基準の見直しや厳格化が行われています。特に近年は、過度な返礼品競争を抑制するためのルール改正が続いており、稲城市のふるさと納税を取り巻く環境は厳しさを増しています。 しかしながら、稲城市は、東京ヴェルディ、読売巨人軍のホームタウンであることに加え、複数のゴルフ場を抱えるなど、他市にはない独自のスポーツ資源と高い潜在能力を持っており、これらは、稲城市独自の魅力として差別化を図れる貴重な地域資源、他市にも負けない特産品になりうると考えます。 そこで、近年の個人版ふるさと納税の納税額、返礼品構成、近年の改正点を確認するとともに、東京ヴェルディ、読売巨人軍とコラボした返礼品を展開することを含めて、今後のふるさと納税の赤字縮小に向けた戦略について伺ってまいります。	
	（１）稲城市における個人版ふるさと納税の過去３年間の年毎の納税額と件数を伺います。	
	（２）稲城市における個人版ふるさと納税の過去３年間の年毎の返礼品数の推移を伺います。	
	（３）個人版ふるさと納税の現状に対する稲城市の見解を伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（４）個人版ふるさと納税制度の主な変更点を伺います。	
	①令和５年10月に改正された個人版ふるさと納税制度の主な変更点を伺います。	
	②令和６年10月に改正された個人版ふるさと納税制度の主な変更点を伺います。	
	③令和７年10月に改正された個人版ふるさと納税制度の主な変更点を伺います。	
	（５）令和５年10月から令和７年10月までに行われた個人版ふるさと納税制度の変更によって、稲城市のふるさと納税にどのような影響があると考えているのか伺います。	
	（６）東京ヴェルディと連携したふるさと納税返礼品の充実の可能性を伺います。	
	（７）読売巨人軍と連携したふるさと納税返礼品の充実の可能性を伺います。	
	（８）ふるさと納税の赤字縮小に向けた稲城市の今後の戦略を伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
2	稲城市の人事交流について	
	技術の目覚ましい発展、多様化する市民ニーズや職員の働き方改革など、社会の変化が激しい現代において、民間企業だけでなく、市役所も様々な変革が求められると思います。 この変革を実現するための手段の一つとして、民間企業との人事交流が有効だと考えます。 稲城市職員が民間企業で経験を積むことで、市場のスピード感、経営的な視点、そして顧客志向のサービス設計といった民間企業のノウハウを吸収し、帰任後にそのスキルを還元してもらうことで、行政の効率化と市民サービスの質向上が期待できます。また、市役所という「まちづくり」に深く関与する主体が、民間企業と連携し、ダイナミックに課題を解決する姿を全国に発信できれば、稲城市役所という職場の魅力向上に繋がると思います。 また、民間企業側も政策決定のプロセスや公共性の視点を理解し、地域課題に対するオーナーシップを高めることができます。人事交流を通じて、獲得したスキル、パイプを活用し、自社の強みを活かして稲城市と一緒に課題の解決や新たなサービスの展開ができれば、企業価値の向上などが期待できます。 人事交流は、官民双方の「壁」を壊し、行政と企業、双方に精通した「ハイブリッド型人材」を育成することができ、自治体と企業の両者がともに協力しながら成長することができる方法なのではないかと考えます。 複雑化する現代において、官民協働を推進できる、このような人材が不可欠であり、稲城市においても人事交流の効果を最大限に活かすことのできる体制づくりは必要であると考えます。 そこで、民間企業との人事交流に関する稲城市の基本的な考え方やその効果を最大限に発揮することができる体制づくりなどについて、人事交流を推進する立場から質問します。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（１）民間企業との人事交流に関する稲城市の基本的な考え方を伺います。	
	（２）これまでの民間企業との人事交流や連携の実績と成果を伺います。	
	（３）民間企業との人事交流をする場合の企業の選考基準とその企業の適格性のチェック体制を伺います。	
	（４）稲城市が民間企業と人事交流することによって得られるメリットを伺います。	
	（５）外部人材からの提案を積極的に生かす柔軟な風土づくりが重要であり、これが組織の活性化、イノベーションに直結すると考えますが、稲城市の考えを伺います。	
	（６）外部人材が持つ知識や技術を受け入れ部署において共有できる体制の整備が必要であると考えますが、ノウハウなどの共有体制の整備を稲城市はどのように考えているのか伺います。	
	（７）民間人材を受け入れるにあたって行政特有の意思決定プロセスや公正性重視の文化と民間企業の効率性重視、スピード重視の姿勢を適切にマネジメントすることが重要であると考えます。 受け入れ前に明確な役割、業務範囲、行政組織の慣習について、すり合わせを十分行うなどが重要であると思いますが、稲城市のギャップマネジメントに関する考えを伺います。	
	（８）人事交流は双方にメリットがあるから行うものだと考えます。 民間企業側は稲城市から何を得ることができるのか、稲城市の見解を伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（９）派遣された市職員が民間企業で体得した業務効率化手法や顧客志向マインドを帰任後に行政プロセスに適用するための土壌も必要であると考えます。 組織全体へのスキルの還元、共有について市の考えを伺います。	
	（10）人事交流は派遣先企業と稲城市との間で中長期的な協力関係の基盤を構築する極めて有効な手段であると考えます。 派遣先企業との間に信頼関係に基づく人的ネットワークを形成し、帰任後も円滑なコミュニケーションを可能にする橋渡し役になることが期待されますが、市の考えを伺います。	
	（11）市職員を派遣することにより既存部門に業務上の恒常的な欠員が生じ、他の職員に業務負担がかかるリスクがあり、組織の士気や既存業務の質が低下する懸念があります。 この懸念点について稲城市の考えを伺います。	
	（12）職員が民間での新しい知見を持って帰任しても、行政側の硬直的な組織文化や、その経験に見合わない職務配置により、獲得したスキルや視点が組織で活用されずに埋没してしまうリスクが最大の懸念事項であります。 この埋没を防ぐためには、市側が積極的に業務改善のアイデアを受け入れる柔軟な姿勢を組織全体で示す必要があるのではないかと考えます。 交流を一時的な経験ではなく、永続的な組織能力に変えることの重要性について市の考えを伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（13）派遣対象職員は業務遂行能力に加え派遣先で得た知見を組織に還元する意欲と、それを伝播させる能力を持つ職員が望ましいと考えます。 派遣が職員自身のキャリアプランと強く連動していることを確認し、派遣後のキャリアパスを明確に示すことで職員のモチベーション維持、職員のエンゲージメント向上に重きを置くべきであると考えますが、派遣職員の選考についての市の考えを伺います。	
	（14）「TOKYO GIANTS TOWN」構想の実現等による地域活性化（地域発展）の推進に関する包括連携協定の概要とこれまでの取組と成果について伺います。	
	（15）読売巨人軍との職員派遣を通じた人事交流の可能性を伺います。	
3	土地区画整理事業について	
	令和６年第４回定例会において、グルメシティ稲城店の閉店に伴う稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の今後の方針について伺いました。現在は、当該店舗の解体工事が行われており、地元の方々からも今後の展開についてのお問い合わせが多数寄せられています。 また、坂浜地域では、新たに稲城若葉台駅東地区の準備会が発足するなど、同地域の魅力と活力あふれるまちづくりが、さらに進むものと期待しているところであります。 そこで、稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業と稲城若葉台駅東地区の現状と今後の事業展開などについて伺ってまいります。	
	（１）稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の現在の進捗状況を伺います。	
	（２）稲城若葉台駅東土地区画整理事業の現在の状況を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
6	公明党	佐藤しんじ

項目番号	質問要旨	摘要
1	稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多摩3・4・16号稲城南多摩線における交通安全対策について 令和7年2月の開通により交通量が増加した稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多摩3・4・16号稲城南多摩線において交通事故が多発しています。TOKYO GIANTS TOWNのグランドオープン等により今後更なる交通量の増加が見込まれることからも、交通安全対策に万全を期していかなければなりません。 (1) 稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多摩3・4・16号稲城南多摩線における、直近3ヶ年の交通事故について ① 交通事故による救急出場件数について伺います。 ② 交通事故発生件数について伺います。 (2) 南山小学校の通学路点検における交通安全対策に関する要望について ① 直近3ヶ年における、具体的な要望内容について伺います。 ② 要望に対し実施した取り組み、また、実施予定や検討中の取り組みについて伺います。 (3) TOKYO GIANTS TOWNへの来場者数について ① 令和7年3月1日の開業以降、ジャイアンツタウンスタジアムへの来場者数について伺います。 ② 令和9年に見込まれている水族館等の完成による、TOKYO GIANTS TOWNグランドオープン後の来場者数の見通しについて伺います。 (4) ヤオコー稲城南山店北西の交差点への信号機設置等、今後の交通安全対策について ① 直近3ヶ年において、市がこれまで受け付けた信号	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	機設置要望の件数について伺います。 ② 信号機設置について、現時点における警視庁の見解を伺います。 ③今後の交通安全対策について伺います。	
2	市立小中学校における養護教諭の配置基準や職務等について 感染症や、猛暑による熱中症、また、いじめや不登校等の問題への対応等が従来の職務や役割に加わり、養護教諭の負担が増大している事、またそれにより、安心安全であるべき児童生徒の学校生活に影響を及ぼしている事を懸念する保護者の声をお聞きします。そうした保護者の声を踏まえ、市立小中学校における養護教諭の状況等について伺います。 ⑴ 養護教諭の配置基準について ① 小学校、中学校、それぞれの配置基準について伺います。 ② 文部科学省による、令和８年度概算要求における配置基準の見直しについて伺います。 ③ 配置基準の見直しによる、本市における影響について伺います。 ⑵ 養護教諭の職務や役割等について伺います。 ⑶ 8月28日付の教育新聞によりますと、養護教諭は広範な職務等を１人で遂行するため、肉体的にも精神的にも負担が大きい、といった課題があるとのことです。そこで、本市の小中学校における養護教諭の状況について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
3	**知的障害特別支援学級の現状と、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について** 本市の特別支援教育において、教育的ニーズに応じた教育環境の整備と、個に応じた指導・支援の充実を図るべく、知的障害特別支援学級、特別支援教室「すまいるルーム」等が設置され、そして、自閉症・情緒障害 特別支援学級については、東京都教育委員会や他市の情報の収集等、研究が進められているものと認識しています。 ⑴市内小学校に設置されている知的障害特別支援学級の現状について ①学級に所属する児童数について伺います。 ②学級に配置されている教員数について伺います。 ③学級運営における指針について伺います。 ④学級運営における主な成果について伺います。 ⑤学級運営における主な課題について伺います。 ⑵市内中学校に設置されている知的障害特別支援学級の現状について ①学級に所属する生徒数について伺います。 ②学級に配置されている教員数について伺います。 ③学級運営における指針について伺います。 ④学級運営における主な成果について伺います。 ⑤学級運営における主な課題について伺います。 ⑶学級運営等について、知的障害特別支援学級に所属する児童・生徒の保護者からの意見や要望について ①小学校の児童の保護者からの意見や要望について伺います。 ②中学校の生徒の保護者からの意見や要望について伺います。 ⑷自閉症・情緒障害特別支援学級設置に関し、児童・生徒の保護者等の市民から寄せられている要望内容について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	⑸26 市における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置状況について ①小学校に設置している自治体数を伺います。 ②中学校に設置している自治体数を伺います。 ③令和８年度より設置する自治体について伺います。 ⑹本市における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について、市の認識を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
7	公明党	湯谷　ひろし

項目番号	質問要旨	摘要
1	電子書籍を活用し、より多くの市民が図書館を利用できる環境を目指して	
	令和元年６月、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律が施行されました。そこで注目されたのが電子書籍です。電子書籍は、音声読み上げや文字拡大ができること、また、多言語に対応できる点等から、読書のバリアフリーを実現する有用性の高いツールです。	
	本市においても、読書バリアフリーの観点から、更には、市立図書館や学校図書館の利用者数を増やしていく施策として、電子書籍を活用すべきであるとの立場から質問を致します。	
	（１）市立図書館の令和6年度における年代別貸し出し件数について伺います。	
	（２）「子どもの読書に関するアンケート(実施期間：令和６年２月７日から令和６年３月５日まで)」について	
	①小学生以上のアンケート内容における「まちの図書館もしくは稲城市の図書館へ行かない理由」の質問に対する主な回答結果内容について伺います。	
	②①における図書館へ行かない理由の回答結果について市の認識を伺います。	
	③学校の図書館へ行かない理由は何ですかとの問いに対して、小学４年生から高校生までの回答では「読みたい本がないから」	

項目番号	質問要旨	摘要
	が、小学１年生から３年生までの回答では「ともだちとあそびたいから」が一番多い回答でした。これらに対する市の見解を伺います。	
	（３）電子図書館に対する市の認識について伺います。	
2	安心して出産ができ、乳幼児を育てられる環境を目指して	
	令和７年９月、国土交通省は「子育て世代の外出先での授乳室・トイレ利用等に関するアンケート調査結果報告書」を発表しました。報告書によると外出時の授乳・搾乳についての困りごとで最も多いのは、授乳室がないことでした。 安心して子どもを産み、育てられる環境を整備することは、市民が稲城市に住み続ける上でとても重要です。	
	（１）授乳室及びおむつ交換台の設置状況と周知について	
	①市役所及び各文化センターにおける授乳室の設置状況について伺います。 ②市役所及び各文化センターにおけるおむつ交換台の設置状況について伺います。 ③市立中央図書館における授乳室及びおむつ交換台の設置状況について伺います。	
	（２）「陣痛タクシー」の概要と市の認識について伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
8	稲　志　会	土居のりひろ

項目番号	質　問　要　旨	摘要
1	駅周辺の賑わい創出のための取組について	
	京王よみうりランド駅は、長年にわたりよみうりランドおよび読売ジャイアンツ球場の玄関口として、地域住民とともにその歴史を歩んできました。 令和７年３月のジャイアンツタウンスタジアム開業を皮切りに、今後は『TOKYO GIANTS TOWN』水族館の開業や、令和８年２月にポケパーク カントーの開業が予定されています。これにより、京王よみうりランド駅は稲城市、ひいては多摩地域を代表する観光拠点の玄関口として、今後ますます発展していくことが期待されます。 稲城市においても、令和６年度から京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業が実施されています。 この整備にあたっては、単に交通機能を強化するだけでなく、地域住民や来訪者が快適に滞在できる「賑わいと憩いの場」を創出することが重要です。 そのための方策として、地域住民や来訪する方々が安心安全に利用できる道路機能に加え、「ほこみち制度」の導入を検討するなど、にぎわい創出に向けた取組の推進について、市の認識を伺います。	
	（１）京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業について	
	① 整備事業の目的について	
	② 現在の進捗について	
	（２）京王よみうりランド駅周辺の官民連携について	
	① 交通事業者との連携について	
	② 読売グループとの連携について	
	（３）ほこみち（歩行者利便増進道路）制度ついて	
	① 市の認識について	
	② 導入に関わる課題について	
	③ 今後の取組について	

項目番号	質　問　要　旨	摘要
2	公民連携による観光資源の整備について	
	京王よみうりランド駅周辺の賑わい創出のための取組と合わせ、稲城市の公共的価値を高めるために観光資源としても活用していく必要がある(仮称)根方谷戸公園。 こちらでは、令和7年 10 月に、スタジアムへ向かう方々のためのフォトスポットとしても活用できる「TOKYO GIANTS TOWN」の文字サインが先行して完成しました。 また、稲城南山東部土地区画整理事業である多7・4・5号東長沼矢野口線の工事も着実に進み、交通利便性の向上は地域住民の皆様の大きな期待となっております。 こうした道路インフラの進捗と人流増加を背景に、隣接する(仮称)根方谷戸公園を観光資源として活力あふれる賑わいのあるまちづくりにつなげられるのか、期待と関心が高まっております。 賑わいの創出には、従来の「地域住民に愛され利用される公園」という役割に加え、ジャイアンツタウンスタジアムなどの観光資源との高い親和性を持たせることが必須であると考えます。 今後、賑わいの創出を推進するにあたり、読売グループとのさらなる連携、そして令和8年2月に開業する「ポケパーク　カントー」が有する、世界最大のメディアコンテンツ「ポケモン」の力を活かすことなども視野に入れ、稲城市の公共的価値を発揮する千載一遇の好機であると捉え、市の認識を伺います。	
	(1)観光拠点と連携した賑わいの創出ついて	
	①(仮称)根方谷戸公園の基本認識について	
	②(仮称)根方谷戸公園の観光資源としての役割について	
	(2)コンテンツを活用した賑わいの創出について	
	①読売グループとの連携について	
	②「ポケモン」との連携について	
	(3)(仮称)根方谷戸公園の整備について	
	①スケジュールについて	
	②今後の観光資源としての取組みについて	

項目番号	質　問　要　旨	摘要
3	自衛隊との連携・協力について	
	近年、大規模災害への対応や、我が国をとりまく国際情勢への懸念から、国民の安全保障への意識が高くなっております。 国防の要であるとともに、大規模災害において多大な貢献を果たしてきた自衛隊の役割は、今後ますます重要になるといえます。 こうした任務を安定的かつ持続的に遂行していくためには、自衛隊員の確保や、高い専門性を有する退職自衛官の再就職支援が、地域の安心・安全を維持するうえで欠かせない課題です。 稲城市においても例外ではなく、自衛隊の活動や募集状況、処遇などに関する情報を若い世代へ発信することは、地域の安全保障や防災・減災の観点から、地方自治体として協力・連携を推進すべき取組みであり、なんら憚られるものではありません。 また、退職自衛官の採用や活用についても、関連団体と連携しながら、職員としての採用や、その他地域社会に貢献できる仕組みを整えることは、災害や有事の際の的確な対応につながる「備えあれば憂いなし」の実践といえます。 令和７年５月には自衛官処遇改善法が成立し、深刻化する自衛官の定員割れに対し、様々な施策が実施されております。他にも途中退職を防ぐため、俸給を全世代で引き上げる改正法案の議論も進んでおります。 国の動きと連動し、我が国の安全保障・大規模災害への一助となる取組みとして、自衛隊との連携・協力について伺います。	
	（１）自衛隊退職者支援について	
	① 防災体制への活用について	
	② 採用促進について	
	（２）自衛官募集について	
	① 広報について	
	② 募集相談員について	

通告番号	会　派　名	氏　　名
9	日本共産党	岡田まなぶ

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	**市内路線バスの維持・拡充について** 2024 年 3 月から稲城市内の路線バスが減便となっている。市民から「元に戻してほしい」と切実な声が引き続き寄せられるもと、路線バスの維持・拡充を問う。 （１）市民の暮らし、通勤・通学に欠かせない地域公共交通として、路線バスの重要性について市の認識は。 （２）市内路線バスの運賃が 10 月より一部値上げとなっているが市の認識は。 （３）市内路線バスの維持・拡充を、京王バス、小田急バスに求めることについて。 （４）路線バスを地域公共交通として維持・拡充するために、独立採算の考え方を転換して、国、東京都の支援強化を求めていくべきと考えるが認識は。 （５）路線バス減便への対応策、新モビリティ（オンデマンド）交通実証実験の取組み状況と利用者を増やす取り組みについて。	
2	**稲城駅の駐輪場の増設等について** （１）駅の駐輪場整備についての市の基本的な考え方は。 （２）稲城駅北口自転車駐車場の利用枠数、利用状況、及び京王サイクルパーク稲城の利用枠数、利用状況は。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（３）稲城駅北口自転車駐車場１階や京王サイクルパーク稲城が「満車で自転車がとめられない時がありとても困る」との声が寄せられている。駐輪場の増設等、駐輪台数を増やす取り組みが必要と考えるが認識は。	
3	**不登校支援、教育補助員等の処遇改善、少人数学級の推進等について** （１）小中学校の過去５年間の不登校児童・生徒数は。 （２）「校内教育支援センター」など、不登校の児童・生徒の居場所を各学校内に整備することについて。 （３）「ネット出席制度」の活用について。 （４）「梨の実ルームは遠くて通えない」という声が寄せられている。分室設置などを検討すべきと考えるが認識は。 （５）教育補助員、特別支援指導補助員、スクール・サポート・スタッフ、エデュケーション・アシスタントの業務内容、雇用形態、報酬は。 （６）教育補助員等の処遇改善のため報酬をあげるべきと考えるが認識は。 （７）スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの業務内容および増員すべきと考えるが認識は。 （８）中学校全学年での 35 人学級の早期実現を求めてきているが認識は。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
10	稲　志　会	川村　あや

項目番号	質　問　要　旨	概要
1	**市が管理する公園・緑地について**	
	稲城市には１３８ヶ所の公園・緑地があります。 公園は子どもから高齢者まで幅広い人が使用する事から、適切な管理が必要です。 公園を管理する目的は大きく分けて三つあると言われています、1つ目は安全の確保、2つ目は快適な環境の維持、3つ目は地域の魅力を高めることです。 稲城市では定期的に植栽の管理や遊具の点検・修繕等が行われています。 公園や緑地に併設されているトイレ・自動販売機（回収ボックス）等の衛生面の管理も、公園を地域で活用するために重要であることから市内の状況について質問させていただきます。	
	（1）公園・緑地のトイレの管理について	
	①設置数について伺います。	
	②清掃の実施状況について伺います。	
	③防犯対策について伺います。	
	④洋式化について伺います。	
	（2）公園・緑地の自動販売機（回収ボックス）の管理について	
	①設置数について伺います。	
	②清掃の実施状況について伺います。	
	③防犯対策について伺います。	
	④防災対応について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘要
2	**不妊症および不育症への支援について**	
	2025年6月4日、厚生労働省が発表した人口動態統計では、2024年の出生数がついに70万人を割った事は皆さんご存じかと思います。 同時に、出生率も過去最低の1.15となり少子化の加速が現実のものとなっています。一方で、子どもを望む多くの夫婦が不妊治療に取り組んでおり、その割合は年々増加しています。 世界保健機関によりますと、2023年にまとめた報告では、不妊の人の割合は全人口のおよそ12.6%です。また、日本では4.4組に1組の夫婦が不妊症を抱えているとされています。 不妊症と同じく、赤ちゃんを産むことができない状況として不育症もあります。不育症とは、妊娠はするものの、2回以上の流産・死産・もしくは1週間以内に死亡する早期新生児死亡等のことです。 不妊症・不育症どちらも、肉体的にも精神的にも金銭的にも負担の多いことから、人口増加に伴い子育て世帯が増えている稲城市として、どのように考えていくのか質問させていただきます。	
	(1)不妊症について 全国で約54万人以上が不妊治療を行っていると言われています。これは2022年の統計であり、不妊治療をする人は年々、増えている事から考えると、現在は更に増加していると思われます。	
	①稲城市独自の補助金(稲城市特定不妊治療医療費助成事業)の補助内容について伺います。	
	②申請者数および増減について伺います。	
	③今後について伺います。	
	(2)不育症について 不育症で悩んでいる方の割合は、妊娠経験者の4.2%と言われています。2024年の出生数、約68万6千人を元に算出すると、年間発症数は約2万9千人です。 また、不育症の原因は人それぞれですが、検査と適切な治療によって約80%もの不育症患者が出産に至る事が、厚生労働省研究班の調べで分かっています。つまり、適切な治療をすれば毎年約2万3千人以上の赤ちゃんが生まれる見込みがあると言われています。	
	①市内の患者数および増減について伺います。	
	②市での対応状況について伺います。	
	③市独自で補助制度を設ける事について伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
11	無所属	村上洋子

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1.	**太陽光パネル等の廃棄処分やリサイクルについて**	
	持続可能な再生可能エネルギーとして太陽光発電が推奨され普及しています。 また、近頃は災害時に備えられレジャー等にも使用できるポータブル型の太陽光パネルやバッテリーのセットも大変人気があり様々な種類のものが大量に出回っています。 これらの廃棄処分やリサイクルについて、環境負荷の少ない方法を明示し市民に周知していく必要があると考えます。 (1) 太陽光パネルの種類と廃棄処分の概要について伺います。 (2) ポータブル太陽光パネル等の廃棄処分の概要について伺います。 (3) 市民への周知の現状について伺います。 (4) 今後の取り組みについて伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
2.	**稲城市立病院で「美味しい病院食」を推進することについて**	
	病気やケガで入院している時の最大の楽しみの一つは食事です。「美味しい病院食」は病気やケガの回復に寄与することはもちろんのこと、病院選びの一つの基準とも捉えられます。 稲城市立病院の病院食を評判の「美味しい病院食」として推進するための取り組みについて伺います。 (1) 病院食に対する市立病院の考え方、認識について伺います。 (2) 病院食の改善のために現在取り組まれていることについて伺います。 (3) 今後の取り組みについて伺います。	
3.	**多様な性を認め合う施策の推進について**	
	2023年「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されてからの市の取り組みについて伺います。 (1) 多様な性を認め合う施策の計画等への明記、市民への周知について伺います。 (2) 多様な性に関する相談窓口について伺います。 (3) 多様な性に関する職員研修の実施と相談窓口へのレインボーフラッグの設置について伺います。 (4) トランスジェンダー女性が「困難な問題を抱える女性」の範疇であることの明示について伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
4.	**子どもの権利に関する施策の推進について**	
	2025年度から「稲城市こども計画」に沿った施策が実施され半年が過ぎました。 稲城市における子ども施策を「子どもの権利」の視点から点検し、子どもの最善の利益と幸福に資するために質問します。 (1) 「こども基本法」では４つの原則「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」と、さらに「家庭での養育支援と困難な場合への配慮」「子育てしやすい社会の実現」を加えて６つの基本理念としています。「稲城市こども計画」にこれらの内容が明記されているか伺います。 (2) 職員向けに「こども基本法」に関する研修を実施したか伺います。 (3) こども家庭庁の「こども・若者意見反映サポート事業」こども意見ファシリテーター養成講座の利用について市の認識を伺います。 (4) 子どもへの権利侵害があった場合の第三者相談・救済機関について伺います。 (5) 子どもの権利を保障する上で課題と感じていることについて伺います。 (6) 今後の取り組みについて伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
12	新政会	角田　政信

項目番号	質　問　要　旨	摘要
1	ゴミのポイ捨て対策について	
	(1)最近ゴミのポイ捨てがまた増加傾向にあると感じます。特に、メイン通りの交差点付近、コンビニ等、飲食店の駐車場や公園、駅周辺などにタバコの吸い殻や缶、ペットボトル等のゴミが散見されます。特に駅周辺では、市の条例でタバコを吸えないことになっていて一時は減ったが、また最近増えてきたように思います。市の認識を伺います。	
	(2)駅前のコンビニでは、店頭に灰皿が常設してあり、朝晩の通勤時などはそこに人だかりがあります。また、駅のベンチやゴミ箱周辺にもゴミが散らかっています。市の認識を伺います。	
2	自転車盗について	
	(1)自転車盗は、日本で発生件数の多い犯罪の一つと言われています。令和7年中の稲城市内における自転車盗の認知件数と、犯罪認知件数のうち、自転車盗の割合について伺います。	
	(2)刑法犯認知件数の大きな割合を占める自転車盗の減少に向けた防犯対策について伺います。	
	(3)市としての自転車盗に対する防犯対策について伺います。	

通告番号	会派名	氏名
13	稲志会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	地域別将来推計人口を踏まえた稲城市の課題について	
	国立社会保障・人口問題研究所の最新予測値（2023年12月）によると、稲城市の総人口は、2045年に10万1225人でピークアウトし、2050年には10万1191人となる見込みであり、第五次稲城市長期総合計画策定時に比べるとやや上振れしていること、生産年齢人口の減少は2020年と比べ5.7%減に留まっており近隣自治体よりも影響は小さいこと、など好材料もありましたが、以下の懸念事項も明らかになりました。 ・2025年時点の高齢化率（22.85%）は、府中市（22.83%）や川崎市多摩区（20.68%）よりも高く、絶対的な優位にあるわけではない ・将来の高齢化の速度（2020年→2050年の65歳以上人口の増加率、1.59倍）は近隣自治体の中でも比較的高く、急速に高齢化が進む ・75歳以上人口の増加率（同じく2020年→2050年、1.94倍）は、65歳以上人口の増加率よりも高く、医療・介護ニーズ（支出）が急増する ・人口増は2045年まで続くが、65歳以上人口の増が生産年齢人口の減を上回ることによる、「高齢化による人口増」であり、生産年齢人口の減は2030年から始まっている これらの事項から考えられる課題について、市の認識を確認するため、以下質問いたします。 なお分析にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所の最新の将来推計人口（令和5年推計）を基礎データとし、多摩市、府中市、調布市、川崎市麻生区・多摩区の近隣自治体と比較分析をしました。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	(1)最新の予測値に対する認識について	
	①総人口が上振れし、生産年齢人口の減少幅が小さくなっていることについて、市の認識を伺います。	
	②近隣自治体との比較を踏まえ、高齢化率について、市の認識を伺います。	
	③65 歳以上人口の増加率が高く予測されていること、及び 75 歳以上人口の増加率が更に高く予測されていることについて、市の認識を伺います。	
	④生産年齢人口の減があと 10 年以内に始まると予測されていることについて、市の認識を伺います。	
	(2)予測値から見た今後の高齢化の進展について	
	①稲城市では 2030 年まで生産年齢人口が増加すると予測されています。しかしそれ以降は減少に転じ、高齢者人口も増加し続けることにより、稲城市も深刻な超高齢化社会に突入すると考えます。これから数年の期間にいかに備えるかが重要と思いますが、市の認識を伺います。	
	②ニュータウン地区についてはお隣の多摩市を先行事例として、「オールドニュータウン」化する前に地域も巻き込んだ総合的な対策が必要と考えますが、市の認識を伺います。	
	(3) 地域ごとの人口動態の特性に応じた施策展開について	
	①緩やかに高齢化が進む既成市街地、急激な高齢化リスクを抱えるニュータウン地区など、地域ごとの人口動態の特性と、それに紐づく将来課題の把握状況について伺います。	
	②地域特性に応じた施策展開について、市はどのように取り組んでいるか具体的に伺います(地域包括支援センターや二層会議など)	
	(4) 人口動態の変化(少子高齢化等)による市財政の影響について	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	今回参考にした予測データと第五次稲城市長期総合計画策定時の人口推計と比較すると、総人口が増え、生産年齢人口の減少幅が小さくなっています。予測通りに推移したとすると、市財政の収入・支出の面でどのような影響があると想定されるか、伺います。	
	(5) 地域コミュニティ(自治会、自主防災組織等)の持続可能性について	
	① 平時において、支援を必要とする高齢者は増える一方で、役員も高齢化し、更に転入増により住民が増えても自治会への加入率は低いままで、活動の担い手は常に不足しています。この現状をどのように認識しているか、伺います。	
	② 災害時においても、支援を必要とする災害弱者は増える一方で、役員側も高齢化が進み、地域による助け合い活動の実効性担保が難しくなっていると感じています。この現状をどのように認識しているか、伺います。	
2	街路樹や緑地の植栽管理について	
	稲城の豊かな緑は私達市民の誇りです。しかし近年、特に夏の猛暑は『酷暑』から『災害級』とも言えるレベルに達しており、植栽管理にも多大な影響を及ぼしていると考えます。その一つが、道路街路樹や緑地における雑草の繁茂です。市民の方々からも除草や剪定の頻度を増やしてほしい、といった声が寄せられています。 とは言うものの、限られた予算の中では全ての要望には対応できないことも承知しています。しかし、この猛暑が『常態化』しつつある今、従来の管理体制や頻度、手法だけでは、快適な緑の環境を維持することが困難になりつつあるのではないでしょうか。 市の道路街路樹および緑地の植栽管理における現状を整理し、持続可能な管理体制を構築するため、特に市民協働の可能性について伺いたく、質問します。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	(1)猛暑の常態化を踏まえた、街路樹・緑地の管理方針について	
	①近年の猛暑による雑草の繁茂速度の増大や、樹木の生育への影響について、市はどのように分析・認識しているか伺います。	
	②その分析に基づき、現行の除草・剪定作業の管理方針（年間作業回数、作業箇所の優先順位付けの基準、巡回体制など）は、現状の気候変動に即したものとなっているか、市の見解を伺います。	
	(2)業者委託による管理の現状と課題について	
	①道路街路樹・緑地の除草・剪定作業における、業者委託の現状（年間予算、契約内容、仕様書で定めている作業頻度など）について伺います。	
	②現状の委託内容や予算では、市民の要望に応えきれていない「回数不足」や「費用不足」の状態にあると認識していますが、市はどのように課題を捉えているか伺います。	
	(3) 市民協働による持続可能な管理体制構築について 限られた財源の中で管理の質と頻度を維持・向上させるためには、行政による管理（委託）だけでなく、市民の力を借りる「協働」が不可欠と考えます。 現在活動されている「いなぎ里山レンジャー」の皆様や、「アダプト制度」に参加されている団体の皆様に、公的な緑地管理（特に除草や軽微な剪定）の一部を担っていただくことについて、市の見解と実現可能性を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
14	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	(案)大河原邦男ギャラリー(常設の屋内作品展示スペース)について EXPO2025大阪・関西万博において好評を博した「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」では、来場者が「人類とモビルスーツが共存する未来」を体験するために新作映像『GUNDAM:Next Universal Century』が制作されました。同作品において、大河原先生はモビルスーツの平和利用をコンセプトに、ガンダムやザクなどのメカニカルデザインのリメイク、リファインを全面的に行われたとのことであります。日本を代表するメカニックデザイナー大河原先生の作品は50 年の長きにわたり、そして今もなお多くの人々を魅了し続けていることから、稲城市として、「大河原邦男プロジェクト」をさらに充実発展させていただきたいと考え伺います。 (1)「大河原邦男プロジェクト」のこれまでの取り組みと令和７年度の状況について (2)大河原邦男作品の市内展示の状況について 市内には数多く大河原邦男作品が展示され、稲城市の魅力度の向上や賑わいの創出の一翼を担っていただいております。また宮城県大河原町議会の行政視察「いなぎ発信基地ペアテラスについて」では「大河原邦男先生のキャラクターモニュメントの効果について」調査をされたとのことであります。大河原邦男作品の市内展示の状況について伺います。 (3)(案)大河原邦男ギャラリー(常設の屋内作品展示スペース)につい	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	て	
	大河原先生のモビルスーツデザインは、アニメ的ロボットではなく工業製品としてのリアリティを追求し、産業機器として成立しうる構造美を提示された結果、宇宙産業や未来社会の象徴としてガンダムが万博パビリオンで展開される契機になったことと考えます。現在も「ガンダム×科学技術の現実化」として企業や大学と協創が進められ、大河原先生の功績は多くの人々を惹きつけています。稲城市にも多大な寄与をいただいていることを市民に広く理解いただき、また大河原先生の聖地として来訪者を迎えるランドマークとなるような常設型の屋内展示スペース「(案)大河原邦男ギャラリー」について市の見解を伺います。	
2	(案)ジャイアンツタウン通り等の施設愛称や、読売ジャイアンツ秋季キャンプの機運醸成によるシビックプライドのさらなる醸成について	
	ジャイアンツタウンスタジアムで初となる読売ジャイアンツの秋季キャンプが 2025 年 10・11 月に行われました。期間中 23,116 人もの大勢の方が稲城市を訪れ、選手にエールを贈られたとのことです。宮崎や沖縄に行かずとも、稲城の地で、プロ野球のキャンプが見られるという貴重な機会を活かし、稲城市と読売ジャイアンツのさらなる飛躍につなげていただきたいと考えます。「「TOKYO GIANTS TOWN」構想の実現等による地域活性化(地域発展)の推進に関する包括連携協定」に基づき、地域の価値創造に向けた取組を連携して推進し、地域の持続的な発展(地域活性化)に取り組むことについて伺います。	
	(1)(案)ジャイアンツタウン通り等、ジャイアンツタウンに関係する道路や公園など市公共施設の名称・愛称について	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	都道124号線　多摩都市計画道路3･4･12号読売ランド線のように、ジャイアンツタウンに隣接または近隣の道路や公園などの名称や愛称等として「ジャイアンツタウン」を冠し、地域の価値創造に向けた取り組みをすることについて伺います。	
	(2)2025年読売ジャイアンツ秋季キャンプに際しての市の取り組みについて	
	(仮称)根方谷戸公園に「TOKYO GIANTS TOWN INAGI city」の巨大な文字サイン(看板)が設置され、先月10月21日にお披露目式が行われました。10月29日にスタートした秋季キャンプ前に設置されたことにより、キャンプ期間中多くの方々の目に入ったことと思います。2025年読売ジャイアンツ秋季キャンプに際しての市の取り組みについて伺います。	
	(3)読売ジャイアンツ秋季キャンプの市内開催の機運醸成について	
	秋季キャンプは一軍で活躍される選手や期待の若手選手など、プロ野球の一流選手の練習を無料で見られ応援できる貴重な機会であります。秋季キャンプを商機と捉え地域経済の活性化につなげられるよう来訪されるファンの方々へのアプローチを積極的に行うと共に、連日報道されるプロ野球のキャンプが稲城市で行われていることを多くの市民の皆様にも知っていただけるよう取り組んでいただきたいと考えます。	
	「「TOKYO GIANTS TOWN」構想の実現等による地域活性化(地域発展)の推進に関する包括連携協定」に基づき、読売ジャイアンツの秋季キャンプが稲城市で行われていることを積極的に周知しシビックプライドのさらなる醸成を図っていただきたいと考え市の見解を伺います。	

	質　問　要　旨	
3	バッグ・靴など服飾雑貨やおもちゃ等回収ボックス設置によるリサイクル促進とごみ減量化の取り組みについて 　バッグ・靴・ベルト・アクセサリーなどの服飾雑貨や、ぬいぐるみ・おもちゃ・釣り道具などのホビー雑貨など、民間企業と地方公共団体が連携し、リサイクル回収する取り組みが広がりつつあります。 　現在「燃えないゴミ」や「燃えるゴミ」での回収となっている服飾雑貨やホビー雑貨等の品目を回収するボックスを民間企業との連携により市内公共施設に設置するなどして、さらなるごみ減量化を図っていただきたいと考え市の見解を伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
15	日本共産党	田島きく子

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	小中学校の生理用品の置き場所について 　児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、また、ジェンダー平等、女性の健康・人権に関わる問題として、生理用品を女子トイレに設置することを求めてきました。その立場から、再び質問します。 ⑴学校長の判断で生理用品を女子トイレに設置している学校があるのか聞きます。 ⑵教育委員会として学校のトイレに生理用品を設置するための方針や行動計画を持つべきと考えますが認識を聞きます。	
2	学校の暑さ対策について 　気象庁の発表によると、2025年6月から8月までの日本の平均気温は、平年を上回り、統計開始以来最も高くなりました。児童・生徒たちが安全に学べる環境をつくるために、稲城市の学校での暑さ対策について聞きます。 ⑴市内の小中学校から出されている暑さ対策についての改善などの要望を聞きます。 ⑵学校において空調設備の効率的な運用について工夫している点について聞きます。 ⑶今後、学校の建て替えや増改築の際に予定している暑さ対策の内容について聞きます。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
3	JR 南武線ワンマン運転に伴う遅延問題や安全対策について 　令和７年第３回定例会においてJR南武線のワンマン運転による遅延発生について質問をしたところ、市民から実際の状況を知らせる声も届きました。市民の通勤や通学の足として、正確で安全な鉄道運行を求める立場から質問します。 ⑴JR 南武線の遅延等について市民から寄せられている苦情や声について聞きます。 ⑵JR 南武線の正確で安全な運行の実施のために、市としても必要な対応を取ることについて認識を聞きます。	
4	稲城市の地球温暖化防止対策の推進について 　地球温暖化の原因となっている CO_2 を削減するために、様々な取り組みが求められています。 取り組みのひとつとして、一人ひとりがエネルギー使用の無駄を見直して、無理なく省エネに取り組むことを求める立場から質問します。 ⑴二酸化炭素排出削減のために、一人ひとりの市民が日常生活の中で省エネや環境負荷低減の取り組みをしていくことは重要であると考えますが認識を聞きます。 ⑵市として市民が日常生活の中で環境負荷低減のために実践できる取り組みの普及啓発を行うことについて認識を聞きます。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
16	改革未来の会	榎本　久春

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	学童クラブの現状と拡充について	
	こども家庭庁が、令和７年７月に公表しました「令和７年度　放課後児童クラブの実施状況（速報値）」によりますと、登録児童数は 156 万 8,588 人、前年比で 4 万 8,636 人の増加となり、過去最多を記録しております。一方で、待機児童数は前年より 673 人減少したものの、依然として 1 万 7,013 人に上っております。いわゆる「小１の壁」と言われる問題として、小学校入学のタイミングで学童に入れなかったり、朝や放課後、長期休みの子どもの生活リズムと、保護者の勤務形態が合わなかったりして、仕事と子育ての両立が難しくなるケースも見られます。保育園の待機児童問題と同様に、学童クラブも放課後の安全・安心な居場所づくりとして必要不可欠な存在であり、喫緊の課題であると考えます。こうした状況を受けまして、こども家庭庁と文部科学省が連携し、すべての子どもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるよう、「放課後児童対策パッケージ 2025」が策定されたところです。そこで、市における学童クラブの現状について伺います。	
	（１）直近３年間の学童クラブの登録児童数および申請したが入所できなかった児童数について伺います。	
	（２）定員を超過している地域や申請したが入所できなかった児童が生じている地域について、市としてどのような課題認識をお持ちか伺います。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	（３）「放課後児童対策パッケージ 2025」の認識及び趣旨を踏まえ、今後、市としてどのような取組を進めていくお考えか伺います。	
	（４）申請したが入所できなかった児童の解消に向けて、施設整備や人材確保について、どのような支援策を検討されているのか伺います。	
２	高齢者の健康寿命の延伸について	
	本市におきましても、高齢化が着実に進む中で、「いかに長く元気に住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるか」が大変重要な政策になっております。健康寿命を延ばしていくためには、介護が必要となる前の段階から、フレイル予防や運動習慣の形成、そして社会参加の支援を、効果的かつ継続的に実施していくことが不可欠であると考えております。本市におきましても、地域包括ケアシステムの深化や通いの場の拡充、介護予防事業の強化など、さまざまな施策を展開しておられますが、こうした流れを踏まえつつ、さらに健康寿命を延ばし生き生きと暮らし続けられる取組の強化が必要であると考えております。そこで、健康寿命の延伸について伺います。	
	（１）市の高齢者の健康寿命の認識と現状をどのように分析されているのか伺います。	
	（２）介護予防事業の現状と今後の取組について伺います。	
	（３）介護予防事業や健康寿命に関する普及啓発の取組について伺います。	

通告番号	会　派　名	氏　　名
17	改革未来の会	いそむら　あきこ

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
1	**医療的ケア児・障害児等の配慮が必要な子どもの保育園の受入れ体制について** すべての子どもが、必要な支援を受けながら地域でともに育ち、育ち合うことのできる環境を整えることは、自治体の重要な責務です。本市においても、医療的ケア児や障害のある子どもが保育園を利用できるよう取組が進められていますが、現場の保育園からは、看護師や加配保育士の安定した確保が難しいことや、受入れにかかる負担が大きいという声も伺っています。 そこで、保護者が安心して相談・入園でき、保育園側も無理なく受入れができる体制づくりを、より一層推進していく必要があると考え、以下について伺います。 (1) 医療的ケア児及び障害児等の配慮が必要な子どもが保育園を利用するにあたり、市としての基本的な責務と役割、またどのような支援体制を構築しているのか伺う。 (2) 医療的ケア児について ①過去3年間の医療的ケア児の保育園入園相談件数及び実際の受入れ状況、また受入れが困難と判断されたケースの有無とその理由について伺う。 ②医療的ケア児が安心して入園できるよう、入園相談から受入れの決定に至るまでの具体的な支援・調整等の取組内容について伺う。 ③医療的ケア児受入れ園において看護師配置は不可欠であるが、看護師の安定的な確保に向けた課題認識と支援の取組について伺う。 (3) 障害児等の配慮が必要な子どもについて ①過去 5 年間の障害児等の配慮が必要な子どもの受入れ状況、また受入れが困難と判断されたケースの有無とその理由について伺う。 ②障害児等の配慮が必要な子どもが安心して入園できるよう、入園相談から受入れの決定に至るまでの具体的な支援・調整等の取組内容について伺う。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	③障害児等の配慮が必要な子どもの受入れにより加配保育士が必要となる場合の、加配の判断基準、配置までの流れ、市の支援内容について伺う。 ④入園後に発達障害等が疑われる場合の、保育園の対応、及び市としての相談体制や関係機関との連携体制について伺う。 (4) 保育士の新規人材確保の取組について ①全国的に保育士確保が難しくなる中、本市において、保育士不足の状況や離職動向、採用状況など、どのように認識しているのか伺う。 ②保育士の新規人材確保に向けた現在の取組と、今後の充実に向けた考えについて伺う。	
2	**学校における保護者等の経済的負担軽減の取組について** 物価高等の影響により、子育て世帯の家計負担が増加する中、学校で必要となる学用品や通学用服等は、学年が進むごとに必要となるものが増えるため、家計への負担が大きくなっています。国においても、学校現場における保護者負担軽減に向けた通知を発出しており、本市としても積極的な取組が求められると考えます。そこで以下について伺います。 (1) 学校における学用品や通学用服等の保護者負担の課題をどのように認識しているのか伺う。 (2) 過去 5 年間における、小学校 6 年間及び中学校 3 年間での学用品や通学用服等にかかる保護者負担の平均額について、それぞれ伺う。 (3) 令和5年 10 月 23 日付け、文部科学省の事務連絡「学校における通学用服等の学用品等の適正な取扱いについて」では、学校が指定する学用品や通学用服などが保護者の経済的負担となっている現状を踏まえ、必要性や価格の妥当性の点検・見直しを求めている。この通知のうち、「2 保護者の経済的負担軽減について」に関して、どのような内容が示されているのか伺う。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	(4)本通知を受けての本市の対応について ①各学校における、学用品や通学用服等の見直し、または価格抑制に向けた取組内容について伺う。 ②教育委員会として、保護者負担の軽減に向けて、どのような取組を行っているか伺う。 (5)令和7年6月25日付け、文部科学省の事務連絡「学校における補助教材及び学用品等に係る保護者等の負担軽減について」では、保護者等負担で購入していた教材の学校備品化や学校指定物品に関する学校向けガイドラインの作成の事例を示している。本市として、こうした方策を踏まえた今後の具体的な方針や取組の検討について伺う。	
3	**稲城南山東部地区における交通安全対策について** 稲城南山東部地区は、今後の稲城市の発展を支える重要な地域である一方、住宅開発や商業施設の整備が進む中で、幹線道路の交通量の増加や、通学路における安全確保の必要性が高まっています。地域住民が安心して暮らし、子どもたちが安全に通行できる環境を整えるためには、必要な対策を計画的に講じていく必要があると考えます。 そこで、本地区の主要道路を中心とした交通環境の現状と今後の安全対策について伺います。 (1)稲城南山東部地区内における多摩都市計画道路3・4・16号稲城南多摩線について ①過去3年間における本路線もしくは本路線に接する箇所での交通事故の発生件数及び内容について伺う。 ②本路線における信号機設置等の安全対策に関する、市民からの具体的な要望内容と件数について伺う。 ③これまでの本路線の交通安全対策に関する取組内容について伺う。	

項目番号	質　問　要　旨	摘　要
	④令和９年にTOKYO GIANTS TOWNにおいて水族館のオープンが計画されており、今後さらに本路線の交通量の増加が見込まれる。今後、想定される交通量の変化に対し、どのような安全対策を検討しているのか伺う。 (2)多摩都市計画道路７・５・７号南山街路２号線について ①本路線の開通予定及び稲城市立学校給食共同調理場第一調理場から東側の開発予定について伺う。 ②今後、本路線の開通により交通量の増加が想定されるが、稲城市立南山小学校における安全確保の観点から、交通量の変化を見越した安全対策について伺う。 (3)稲城南山東部地区における交通事故の発生状況や今後の開発計画に関する情報提供等の取組について伺う。	